



太陽と月のカレンダー



※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

| | | | | | | | | | | |
|-----------------------|----------------------------------|------------------------------|----------------|--|----------------|----------------|---|----------------|---------------------------|----------------|
| 日付(曜日) | 1 (土) | 2 (日) | 3 (月) | 4 (火) | 5 (水) | 6 (木) | 7 (金) | 8 (土) | 9 (日) | 10 (月) |
| 日の出 月の形 日の入 | 06:41 17:12 | 06:40 17:13 | 06:39 17:14 | 06:38 17:15 | 06:37 17:16 | 06:37 17:17 | 06:36 17:18 | 06:35 17:19 | 06:34 17:20 | 06:33 17:21 |
| ▼情報 天文現象 暦(こよみ) | 夕方の西の空 で土星と月が 接近 ★星空観望会 | 節分 夕方の西の空 で月と金星が 接近 | 立春 | | 上弦 | | 月と木星が接 近 | | 月と火星が接 近 ★星空さん ぽ | 月と火星が接 近 |
| 11 (火) | 12 (水) | 13 (木) | 14 (金) | 15 (土) | 16 (日) | 17 (月) | 18 (火) | 19 (水) | 20 (木) | 21 (金) |
| 06:32 17:22 | 06:31 17:23 | 06:30 17:24 | 06:29 17:25 | 06:28 17:26 | 06:27 17:27 | 06:26 17:28 | 06:24 17:29 | 06:23 17:30 | 06:22 17:31 | 06:21 17:32 |
| 建国記念の日 | 満月 | | | 金星が最大光度 (-4.9等) ★トワイライ トプラネタリ ウム | | | 雨水 | | | 下弦 |
| 22 (土) | 23 (日) | 24 (月) | 25 (火) | 26 (水) | 27 (木) | 28 (金) | ☆冬の三大角とカノーパス 冬の三大角は、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテル ギウスと3つの一等星を結んでできる冬の星座の目印。 正三角形に近い形をしていて、街中でも探すことができる。 三角の間を冬の天の川が縦断(じゅうだん)しているが、街中では見えない。 ベテルギウスとプロキオンの間と、シリウスを結んで南にのぼした先には一等星カ ノーパスがある。東京ではかなり低いところに見えるので、地平線が開けたところで探 してみよう。 | | | |
| 06:20 17:33 | 06:18 17:34 | 06:17 17:35 | 06:16 17:36 | 06:15 17:37 | 06:14 17:38 | 06:12 17:39 | 新月 | | | |
| ★星空コン サート | ★全編生解 説プラネタ リウム | 天皇誕生日 | 振替休日 | | | | | | | |



二十四節気とは、太陰暦(月のみちかけの周期を1か月とする暦法。旧暦。)を使用していた時代、暦と季節が少しずれるので、季節とずれない目印として考え出されました。春分や夏至などを基準に1年を24等分し、区切りの日に名前をつけたものです。現在でも季節の節目に、これを示す言葉として使われています。

立春(りっしゅん)…この日から立夏の前日までが春。まだ寒さの厳しい時期ですが、日脚は徐々に伸び、九州や太平洋側の暖かい地方では梅が咲き始める頃です。
雨水(うすい)…空から降るものが雪から雨に替わる頃、深く積もった雪も融け始めます。春一番が吹き、九州南部ではうぐいすの鳴き声が聞こえ始めます。

金星

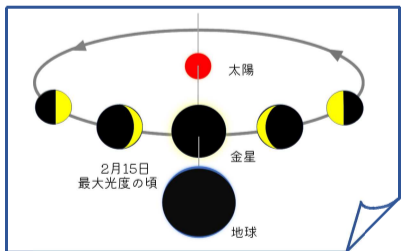
金星は明け方の東の空、または日が沈んだ西の空で見ることができます。今の時期は、西の空で「宵の明星」として明るく輝いています。

2月15日には、もっとも明るい最大光度-4.9等となります。1等星の150倍以上の明るさなので、日が沈む前から見つけることができるでしょう。

金星が明るく見えるのは

金星にある分厚い雲が、太陽の光を約78%以上反射させています。さらに地球と金星が接近することで大きく明るく見えますが、近づくとつれて、地球から見える金星が欠けて細くなります。望遠鏡を使うと、月のように満ち欠けしている姿を観察することができます。これは金星が地球よりも内側で太陽の周りを回っているからです。

※2025年天文年鑑参照



最大光度の頃の金星は三日月のように欠けて見えます。

金星は未来の地球の姿

金星は地球とほぼ同じ大きさ、重さを持っていることから「双子星」とも呼ばれます。ですが、金星は主に二酸化炭素の大気に包まれています。吸収した太陽の熱を外に逃がすことが難しく、表面温度は450℃以上あるとても熱い星です。

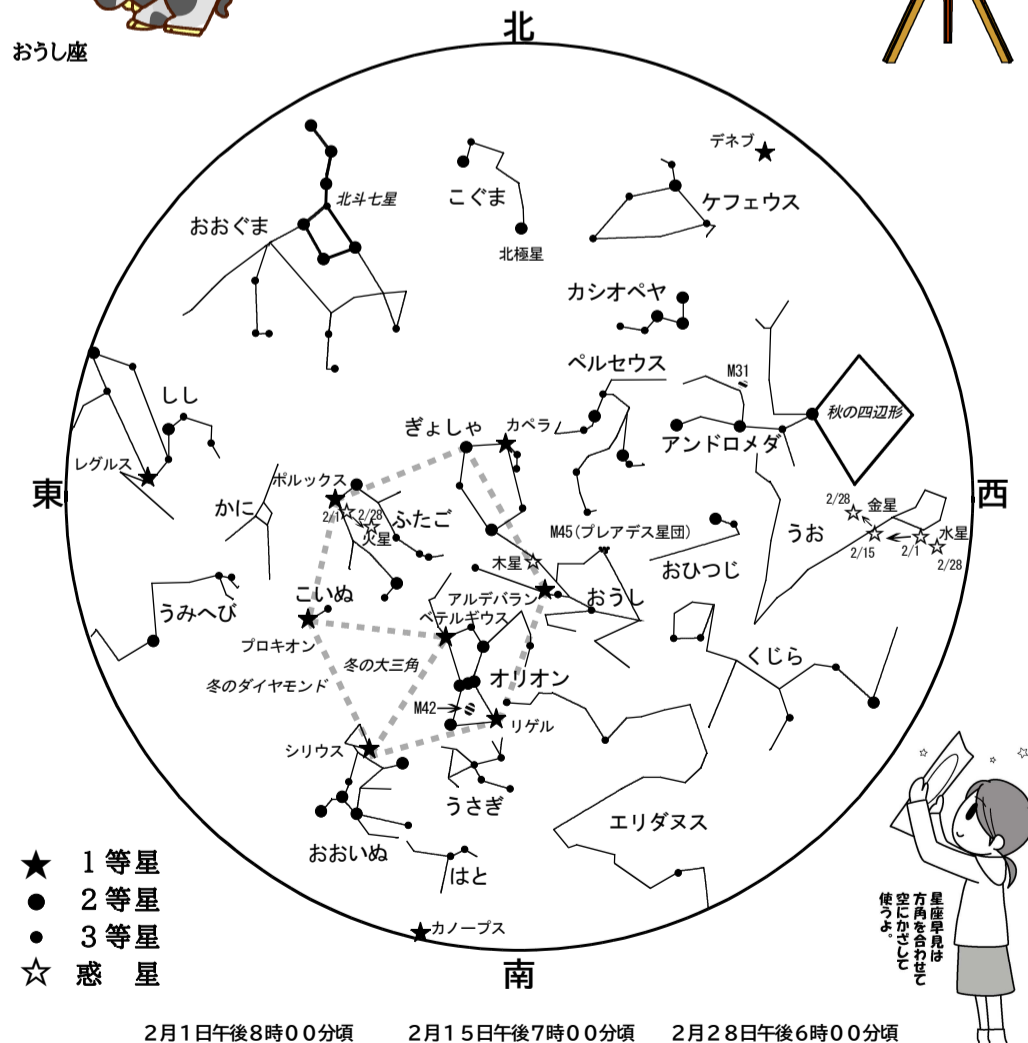
地球も今、二酸化炭素(物を燃やす、車を動かすなどの排気ガス)が増え、地球の表面温度が高くなる「温暖化」が進んでいます。このままでは、いつか地球も金星のようになり本当の「双子星」になってしまうかもしれないとも言われています。

★プラネタリウムイベント情報! ※詳しくはホームページ等でご確認ください。

- ★星空観望会 … 2/1(土)18:00~19:30 事前申込制 観望予定天体:月・金星・木星
- ★冬の星空さんぽ … 2/9(日) 15:50~16:40 見ごろとなっている星や星座、天文現象などをたっぷりとお話します。
- ★トワイライトプラネタリウム … 2/15(土) 18:00~18:50 「ファーストコンタクト」 観覧料:大人500円 4歳~中学生150円
- ★星空コンサート … 2/22(土) 18:30~19:30 「トロンボーン、サクソ、ピアノで楽しむプラネタリウムコンサート」
出演:Nocturne(小林実鈴(サクソ),AKI-C(トロンボーン),ゆずる(ピアノ))
- ★全編生解説プラネタリウム … 2/23(日) 15:50~16:40 星空の解説とテーマ解説「星のかたちの謎」

★かんたん星座早見★ 2月

(月は描いてありません)



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- ☆ 惑星

2月1日午後8時00分頃 2月15日午後7時00分頃 2月28日午後6時00分頃



ホームページは
こちらから

